荷田歯科 kada dental
荷田歯科機器・器具・用品の通販

TPC

取扱説明書



荷田歯科 kada dental
荷田歯科機器・器具・用品の通販

第1節： 仕様

1.1　電気仕様：

振動周波数：24～32kHz
電源入力：100～240V AC 50/60Hz
出力：24V DC 1.7A

1.2 外形寸法：

高さ：7.5cm　幅： 18.5cm　　奥行：16.5cm　重量：1.54Kg

1.3 動作環境：

周囲温度：+10℃～+40℃
相対湿度：30%～75%
大気圧：700hPa～1060hPa

1.4 輸送および保管環境：

周囲温度：-10℃～+70℃
相対湿度範囲：10%～90%
大気圧：500 hPa～1060 hPa

規格への適合：

この超音波スケーラーは、IEC 60601-1-2:2001 および IEC 60601-1-1:2000 に準拠しています。
TPCの品質管理システムは、ISO9001およびISO13485の認証を取得しています。
本装置は、欧州医療機器指令（93/42/EEC）に基づきCEマークを取得しています。

本装置は、空気または亜酸化窒素と混合した可燃性麻酔ガスがある環境での使用には適していません。

注意：米国連邦法により、本機器の販売は歯科専門家による、または歯科専門家の指示に基づくものに限られています。

第2節：はじめに

2.1 機能：

A750超音波スケーラーは、予防処置、歯周治療、およびその他の歯科治療分野での使用を目的として設計されています。予防処置に使用する場合、本機は微細な温水のスプレーを噴射して動作するため、手用器具を使用する場合に比べて身体的な負担がほとんどありません。歯肉縁上および歯肉縁下の頑固な歯石や着色を簡単かつ効果的に除去し、歯冠および歯根の表面を清潔で滑らかな状態にします。

2.2 使用方法：（操作前に必ずお読みください）

1. 通常の使用時には、水道から水を供給してください。
2. 水を使用せずに、または水なしで使用することを想定したチップを使用して本装置を操作する場合、最大4分間のみ使用し、その後8分間の休止期間を設けてください。上記の推奨時間を超えてスケーラー装置を使用すると、ハンドピースに回復不可能な損傷を与える可能性があります。

3. チップの動きは、ハンドピース内のピエゾ結晶によって生成されます。スケーラーのチップは直線的に前後に動きます。
このストロークの長さと動きの振幅は、0.04〜0.13 mmの範囲で調整可能です。この調整は、最小から最大までの設定が可能なパワーノブで行います。

第3節：適応症

超音波処置
- 一般的な歯肉縁上および歯肉縁下のスケーリングのあらゆる用途。
- あらゆる種類の歯周病に対する歯周デブリードマン。
- 歯内療法。

第4節：禁忌および注意事項

4. 1 禁忌
アマルガムの圧密を伴う歯科修復処置には、超音波システムを使用してはなりません。

4.2 警告
プラスチックケース、電源コード、ハンドピースケーブル、電源インレット、およびハンドピースホルダーの表面を確認し、ケースの破損や絶縁コーティングの破損が見つかった場合は、本機を販売店に返品してください。本機の使用中は、水が継続的に流れていることを確認してください。ハンドピースが過熱した場合は、給水を確認し、しばらく本機の使用を中止してください。

荷田歯科 kada dental
荷田歯科機器・器具・用品の通販

第5節：注意事項

5.1 すべてのシステムに共通する注意事項

- 本システムをラジエーターやその他の熱源の上やその近くに置かないでください。過度の熱は、本システムの電子部品を損傷する恐れがあります。本システムは、周囲および下部から空気が自由に循環できる場所に設置してください。
- 本システムは持ち運び可能ですが、移動の際は慎重に取り扱ってください。
- 装置の洗浄および歯科用水供給システムのメンテナンスを強く推奨します。
- 毎晩、診療所を離れる前に、本システムへの冷却水遮断弁を閉じてください。インライン式水フィルターの使用を推奨します。

5.2 超音波予防処置に関する注意事項

- 歯ブラシと同様に、超音波インサートも使用に伴い「摩耗」します。摩耗がわずか2 mmのチップでも、そのスケーリング効率が低下します。一般的に、最適な効率を維持し、破損を防ぐために、超音波インサートは1年間使用したら廃棄し、交換することが推奨されます。

第6章：メンテナンスと滅菌

6.1 メンテナンス：

TPC A750 超音波スケーラーの外表面（筐体、操作ノブ、電源コード、
ハンドピース、ハンドピースケーブルアセンブリ、フットスイッチ、およびフットスイッチケーブルで構成されるTPC A750超音波スケーラーの外表面は、洗浄および消毒を行う必要があります。取り外し可能なハンドピースと超音波チップは、洗浄および滅菌が必要です。推奨される方法について説明します。ただし、他の方法も利用可能です。別の方法を行う場合は、特別な手順が必要になる場合があります。

推奨される毎日の手順：

毎日の開始時：

滅菌済みのハンドピースを、対応するハンドピースケーブルアセンブリに接続します。ハンドピースをシンクまたは排水口の上に持ち、電源を低出力に設定し、フットスイッチを操作して、最大水流で少なくとも2分間、装置の給水ラインを洗浄します。滅菌したばかりのチップをハンドピースに取り付けます。これで装置は使用可能な状態になります。

患者間の処置：

使用済みの超音波チップおよびハンドピースをすべて取り外し、洗浄・滅菌してください。
キャビネット、電源コード、ハンドピースケーブルアセンブリ*、操作ノブ、フットコントロール、およびケーブルアセンブリの表面を、承認済みの非浸漬型消毒液*を、消毒液メーカーの指示に厳密に従って適用し、洗浄・消毒してください。システムを洗浄するには、清潔なタオルに消毒液をたっぷりと吹き付け、すべての表面を拭き取ってください。 使用済みのタオルは廃棄してください。システムの消毒を行うには、清潔なタオルに消毒液をたっぷりと吹き付け、すべての表面を拭き取ってください。消毒液は自然乾燥させてください。
ハンドピースを、対応するハンドピースケーブルアセンブリに接続してください。ハンドピースをシンクまたは排水口の上に持ち、前述と同様に、最大水流で30秒間、本体の給水ラインを洗浄してください。滅菌したばかりのチップをハンドピースに取り付けてください。

荷田歯科 kada dental
荷田歯科機器・器具・用品の通販

毎日の終了時：

使用したすべての超音波チップとハンドピースを取り外し、洗浄および滅菌を行います。
キャビネット、電源コード、ハンドピースケーブルアセンブリ、フットコントロール、およびケーブルアセンブリの表面を、承認済みの非浸漬型消毒液*を使用し、消毒液メーカーの指示に厳密に従って洗浄・消毒してください。システムを洗浄するには、清潔なタオルに消毒液をたっぷりとスプレーし、すべての表面を拭き取ってください。 使用済みのタオルは廃棄してください。システムの消毒を行うには、清潔なタオルに消毒液をたっぷりと吹き付け、すべての表面を拭き取ってください。消毒液は自然乾燥させてください。
*注1：水性消毒液の使用を推奨します。一部のアルコール系消毒液は有害である場合があり、プラスチック素材を変色させる恐れがあります。

6.2 滅菌のヒント：

洗浄・消毒
必要に応じて、滅菌の前に、チップを水ですすいで目に見える汚れを取り除いてください。超音波洗浄液などの洗浄液や消毒液の使用は推奨されません。滅菌

- チップを紙製または紙・プラスチック製の蒸気滅菌用パウチに入れます。紙・プラスチック製の蒸気滅菌用パウチを使用する場合は、紙面を上にしてください。
- 袋に入れたチップを蒸気オートクレーブに入れます。予熱が完了した後、滅菌温度273°F/31 psi（134°C/216 kPa）、圧力で12分間処理し、その後20〜30分間の乾燥時間を設けてください。
- 無菌状態を維持するため、インサートは使用準備が整うまで密封されたパウチに入れたままにしておいてください。

6.3 ハンドピースの滅菌：

洗浄：

- 多目的器具用洗浄液をたっぷり含ませた布でハンドピースを拭き取ってください。
- 布を廃棄してください。
- ハンドピース全体を水ですすいでください。
- 清潔な布でハンドピースを完全に乾かしてください。布は廃棄してください。

滅菌：

- ハンドピースを接続コードから外し、チップを取り外します。
- ハンドピースを蒸気オートクレーブに入れます。予熱が完了した後、滅菌温度273°F/31 psi（134°C/216 kPa）、圧力273°F/31 psi（134°C/216 kPa）で12分間処理し、その後20〜30分間乾燥させます。
- 滅菌が完了したら、直ちにハンドピースをオートクレーブから取り出してください。
- ハンドピースとケーブルコネクタを接続する前に、電気接点を慎重に乾燥させてください。

注意：

- 低温滅菌液は使用しないでください。
- 滅菌前に化学消毒剤を使用しないでください。材料が急速に劣化する場合があります。
- ハンドピースのケーブルアセンブリは滅菌しないでください。
- ハンドピースとケーブルを接続する前に、少量の水でコネクタのOリングをすすぐと、Oリングの寿命を延ばすことができます。

荷田歯科 kada dental
荷田歯科機器・器具・用品の通販

第7章：設置手順

7.1 一般的な情報

超音波 V750 システムの設置を、TPC 販売代理店の訓練を受けた担当者以外が行う場合は、以下の要件および推奨事項を厳守してください。

7.2 給水ラインの要件

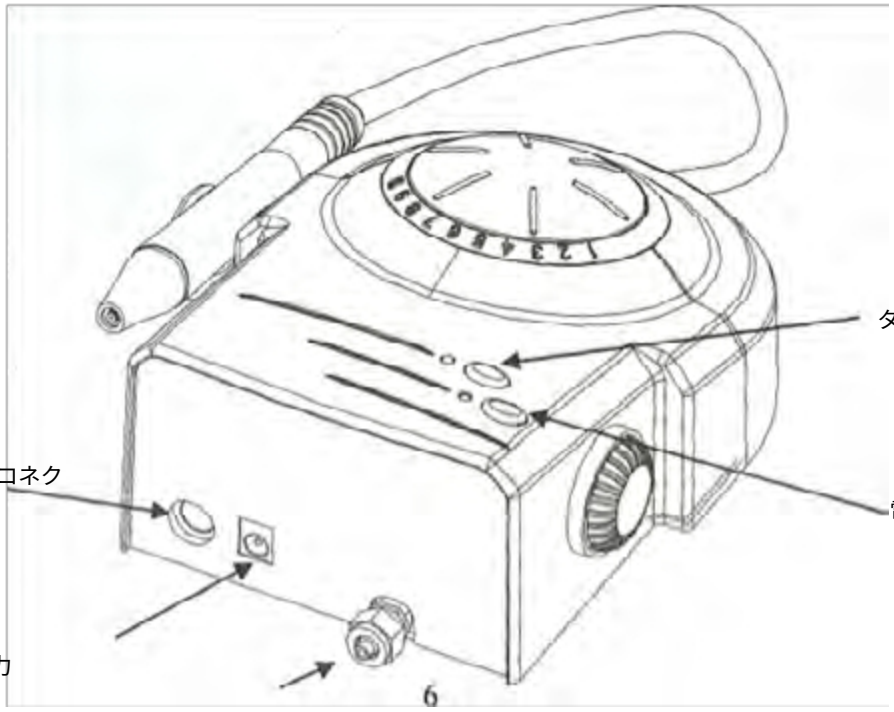
- 本システムの給水ラインは工場出荷時に取り付けられています。本システムから取り外さないでください。
- システムへの給水ラインの圧力は、1〜4 bar（14.5〜58 psi）でなければなりません。
- 歯科用水システムの給水ラインの圧力が 58 psi を超える場合は、超音波 A750 システムへの給水ラインに水圧調整器を取り付けてください。
- 歯科用水システムの給水ラインには手動遮断弁を設置し、診療所が無人になる際に水を完全に遮断できるようにしてください。
- 歯科用水供給システムへの上記の設置作業が完了した後、本システムに接続する前に、歯科医院の水道を徹底的に洗浄してください。

7.3 システムの開梱

超音波 A750システムを慎重に開梱し、すべての構成部品および付属品が同梱されていることを確認してください：

1. 給水ライン付き「超音波 A750」システムおよびケーブル付きハンドピース。
2. 電源コード付き着脱式電源ユニット。
3. ケーブル付きフットスイッチ。
4. オートクレーブ対応ハンドピース
5. 超音波チップ
6. 給水接続用フレキシブルチューブ（長さ1.8mm）。

7.4 電源スイッチ／接続



荷田歯科 kada dental
荷田歯科機器・器具・用品の通販

第8節: システム制御

AC電源インジケータランプシス
テムがオンになると点灯します

電源調整
ノブを回して動作の出力レベルを選択します。時計回りに回すとシステムの出力が上がり、反時計回りに回すとシステムの出力が下がります。

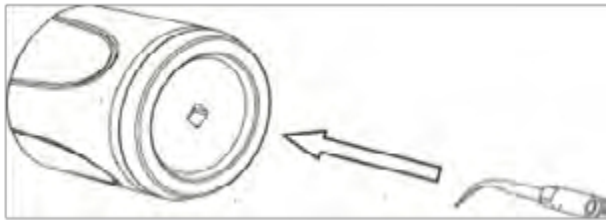


ハンドピース：超音波
インサートを駆動し、電源と洗浄液を供給します。

洗浄液流量の調整
ノブを回して、システム動作中の洗浄流量レベルを選択します。時計回りに回すとインサート先端の流量が減少し、反時計回りに回すと流量が増加します。ハンドピースを通る流量によって、洗浄液の温度が決まります。流量が少ないほど温度は高くなり、流量が多いほど温度は低くなります。

ハンドピースホルダー：システムを使用していないときに、ハンドピースをしっかりと固定します。

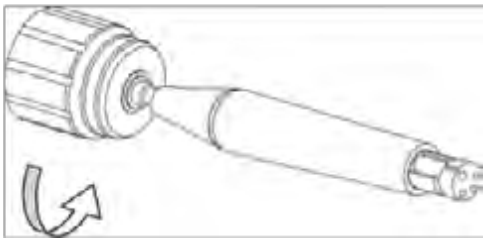
TPC A750ハンドピースは、使用に際して注意を要するハイテク機器です。チップは、専用のレンチを使用してねじ込み、適度に締め付ける必要があります。



荷田歯科 kada dental
荷田歯科機器・器具・用品の通販

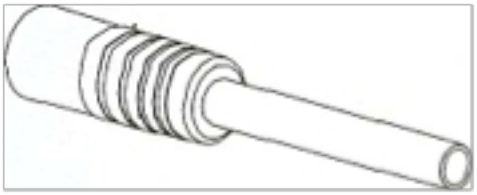




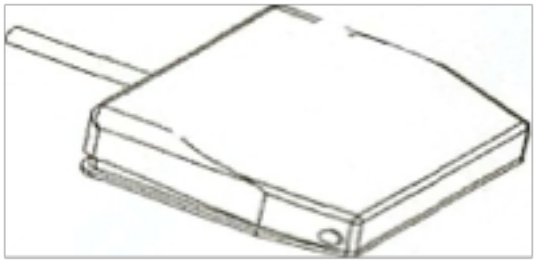


ハンドピースの分解

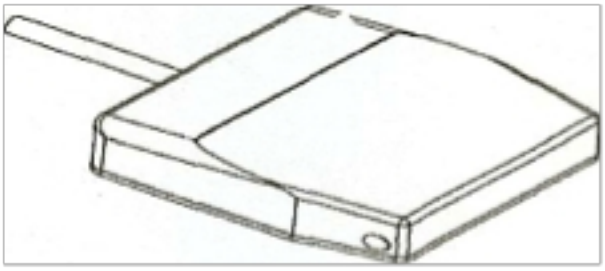




8.3 フットスイッチ



フットスイッチを離すと、超音波の作動と洗浄水の流量がともに停止します。



フットスイッチを完全に踏み込む 超音波チップが作動し、洗浄水が流れます。

第9節：付属品

1. 電源コード付きスイッチング電源
2. チップおよびチップ用レンチ
3. フットスイッチ
4. 滅菌可能なボックス
5. コネクタ付きウォーターチューブ
6. ハンドピース
7. 取扱説明書

連絡先
kadashika.jp@gmail.com
URL:https://www.kadashika.jp/